

宮川ふれあい懇談会 主な意見要旨

開催日時:平成 21 年 7 月 25 日(土)

開催場所:伊勢市ハートプラザみその

宮川ふれあい懇談会において、宮川に対する思いなどの意見をポストイット等を書いて頂きました。その中で出ました主な意見の要旨を以下に掲載しました。

治水に関する主な意見

- ・治水と環境の両立した整備が必要である。
- ・洪水がスムーズに流れる川として欲しい。
- ・JR勢田川橋付近の河川整備をして欲しい。
- ・宮川の河床を掘削して洪水が流下できるようにして欲しい。
- ・昼田地区の堤防整備を進めて欲しい。
- ・宮川橋の架け替えを国でして欲しい。
- ・二見町では排水機の設置場所が低く、津波の時には水没し機能を果たせないため、対策して欲しい。
- ・横輪川の洪水対策より一層を進めて欲しい。
- ・宮川改修工事(床上)の山林の土取場について、集中豪雨時の心配があるので、対策をして欲しい。
- ・五十鈴川上流の堤防整備を進めて欲しい。

環境に関する主な意見

- ・実際に工事に関わる側と自然を保護する側の方針が、矛盾することのないよう調整して欲しい。
- ・市民が親しめる川として欲しい。
- ・宮川下流部も生物が多く確認できるような川にして欲しい。
- ・勢田川の環境について、昔の環境を取り戻したい。
- ・宮川河口域で環境調査を実施して、環境の変化を把握して欲しい。
- ・子や孫へ良好な環境を残していくため、大きな運動の展開が必要である。
- ・水生生物の生息環境を保全することが重要である。
- ・いろいろな生物が生息できる川として欲しい。
- ・コンクリート護岸ではなく、環境に配慮した護岸整備を進めて欲しい。
- ・親水公園の水路について、生物が住みやすくなるよう改善して欲しい。
- ・工事に当たっては、研究者との情報交換が必要である。

- ・ブランケットの樹木は、生物の生息場となるため、適切に残して欲しい。
- ・五十鈴川や勢田川の河口域へ干潟を造成したらどうか。
- ・人工的でない川、自然の宮川を景観的にも特色のある川としたい。
- ・勢田川下流部において、安全にウォーキングするため、川の中段に下りる階段等を増設して欲しい。
- ・宮川橋付近に遊歩道等を整備して欲しい。
- ・宮川や勢田川へのサイクリングロードの整備など、住民が親しめる川づくりをして欲しい。
- ・勢田川を市民のレクリエーションの場として活用できるよう整備して欲しい。
- ・勢田川の水質を改善して欲しい。
- ・草刈りの手間を省くために、効率重視で外来種を移植することはやめて欲しい。(汁谷川合流部付近)

維持管理に関する主な意見

- ・昼田地区の堤防の除草を進めて欲しい。
- ・五十鈴川の水門について、ゴミ排出に支障のないよう施設を改良して欲しい。
- ・ゴミ不法投棄に対する対策をして欲しい。
- ・五十鈴川の水門について、洪水時に水門のまわりにゴミが溜まるので、対策をして欲しい。
- ・ラブリバー公園の船たまり場を整備して欲しい。
- ・勢田川の不法係留対策として船だまり場を整備して欲しい。
- ・不法係留対策を進めて欲しい。
- ・勢田川黒瀬大橋から下流について、不法係留対策と駐車対策を進めて欲しい。
- ・豊浜大橋下流の高水敷の農地が荒れているので、整備して欲しい。
- ・緊急時に河川を利用(通行)できる緊急特殊車両等の開発計画を推進したらどうか。

その他の意見

- ・住民からの意見は早めに聞いて欲しい。
- ・話し合いの機会を多く設けて欲しい。
- ・参加した住民の意見はどれだけ反映されるのか。
- ・1人1人の川を美しくしようという心がまえが、大きい運動になるのではないか。
- ・勢田川にゴミを捨てる人がいるため、沿川の住民の意識改革が必要である。
- ・川に対するアンケートを取れば、いろいろな意見が得られると思われる。
- ・住民と一体となって、無理なく長く続けられる取り組みを進めて欲しい。
- ・工事に関わる情報を提供して欲しい。